

『演習 保育内容 **表現**—基礎的事項の理解と指導法—』モデルカリキュラム対応表

モデルカリキュラム「幼児と表現」における到達目標と本書の対応項目

＜全体目標＞

当該科目では、領域「表現」の指導に関する、幼児の表現の姿やその発達及びそれを促す要因、幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びや環境の構成などの専門的事項についての知識・技能、表現力を身に付ける。

(1) 幼児の感性と表現	
＜一般目標＞	
幼児の表現の姿や、その発達を理解する。	
＜到達目標＞	本書の対応章
1) 幼児の遊びや生活における領域「表現」の位置付けについて説明できる。	第1章， 第6～9章
2) 表現を生成する過程について理解している。	第2・3章， 第6～9章， 第11章
3) 幼児の素朴な表現を見出し、受け止め、共感することができる。	第2・3章， 第6～10章
(2) 様々な表現における基礎的な内容	
＜一般目標＞	
身体・造形・音楽表現などの様々な表現の基礎的な知識・技能を学ぶことを通し、幼児の表現を支えるための感性を豊かにする。	
＜到達目標＞	本書の対応章
1) 様々な表現を感じる、みる・聴く・楽しむことを通してイメージを豊かにすることができる。	第3章，第6～9章
2) 身の周りのものを身体の諸感覚で捉え、素材の特性を生かした表現ができる。	第3章，第6～9章
3) 表現することの楽しさを実感するとともに、楽しさを生み出す要因について分析することができる。	第3章，第5～9章
4) 協働して表現することを通し、他者の表現を受け止め共感し、より豊かな表現につなげていくことができる。	第3章，第5～9章
5) 様々な表現の基礎的な知識技能を生かし、幼児の表現活動に展開させることができる。	第5～9章

モデルカリキュラム「保育内容「表現」の指導法」における到達目標と本書の対応項目

<全体目標>

領域「表現」は、「感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする」ことを目指すものである。幼稚園教育において育みたい資質能力を理解し、幼稚園教育要領に示された領域「表現」のねらい及び内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深め、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。

(1) 領域「表現」のねらい及び内容	
<一般目標>	
幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「表現」のねらい及び内容を理解する。	
<到達目標>	本書の対応章
1) 幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、領域「表現」のねらい及び内容並びに全体構造を理解している。	第4～6章
2) 領域「表現」のねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解している。	第4～6章
3) 幼稚園教育における評価の考え方を理解している。	第4～6章
4) 領域「表現」に関わる幼児が経験し身に付けていく内容の関連性及び小学校の教科等とのつながりを理解している。	第5・6章, 第11章
(2) 領域「表現」の指導方法及び保育の構想	
<一般目標>	
幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「表現」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を修得し身に付ける。	
<到達目標>	本書の対応章
1) 幼児の心情、認識、思考及び動き等を視野に入れた保育構想の重要性を理解している。	第8章, 第12章
2) 領域「表現」の特性及び幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育構想に活用することができる。	第8章, 第12章
3) 指導案の構造を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。	第12章
4) 模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けている。	第8章, 第12章
5) 領域「表現」の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができる。	第12章

(株)建帛社